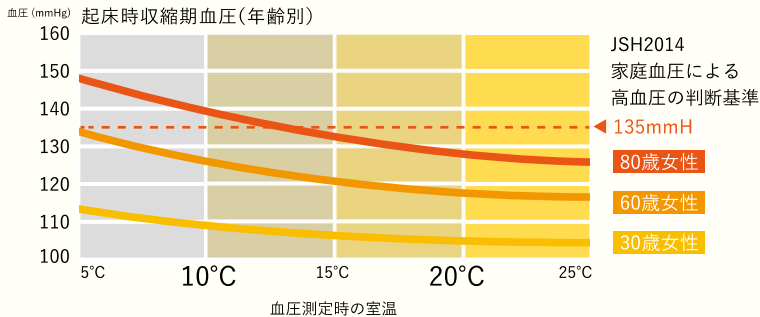


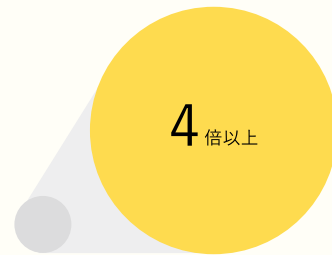
朝まで保たれている家全体の暖かさが起床時の血圧を下げる。



※図は女性の平均を示しており、男性の場合は女性に対して70~100mmHg 高くなります

出典：Hyper tension (米国心臓協会が監修する国際医学誌) 2019年10月号掲載
家庭血圧と冬季室温との関係の断面分析 (慶応義塾大学伊香賀教授他)

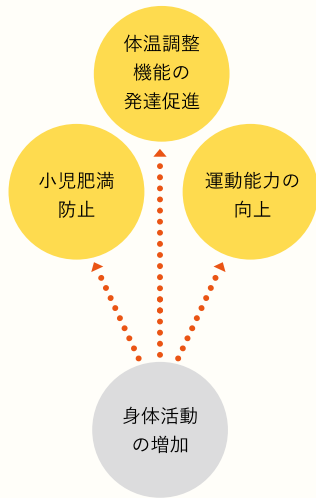
ヒートショックによる死亡率を減らしていきたい。



交通事故死亡者数 4,373 人
入浴中死亡者数 約 19,000 人

出典：厚生労働科学研究費補助金 入浴関連事故の実態把握及び 予防対策に関する研究 平成25年度総括・分担研究報告書、警察庁「平成25年中の交通事故死者数について」

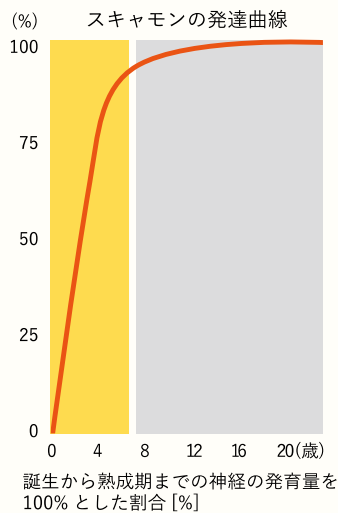
幼児期の運動が、生涯の健康につながる。



出典：文部科学省, 幼児期運動指針, 2012
文2 落合・白澤ら, ライフスタイルと小児肥満, 昭和医学会雑誌, 2010

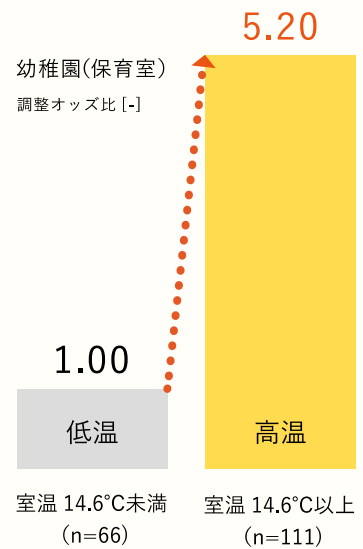
神経の発達は6歳頃までに9割が完成。

(幼児期に運動刺激を与え、神経回路を張り巡らせることが必要。)



出典：Scammon, RE, Jackson, CM, Paterson, DG, The measurement of the body in childhood, In Harris, The Measurement of Man, Univ. of Minnesota Press, Minneapolis, 1930

暖かい部屋なら、幼児の身体活動量が増加。



出典：慶応義塾大学伊香賀研究室提供資料

「NE-STな家」は、世界を基準にしました。

いろんなものが、どんどん進歩している時代に、家はどうでしょう？ 日本人は、我慢するという性格があるからでしょうか、高断熱・高气密の家づくりは現状ではそれほど普及していません。いっぽう環境先進国の欧米では、省エネという観点もあり義務化されている国もみられます。